

いま為すべきこと。

選手・主催者・大きな組織
互いを補い合う ひとつの陸上競技を実現する

陸上競技 KIROKUBU

高橋克実

kt@kirokubu.com

070-6659-0064

記録

陸上競技の記録

大会情報の一項目

「資料的価値」より

大切なこと

人を動かす力が

あるということ

励ます力

背中を押す力

人と人をつなぐ力…

2020年に
起こったこと

活動がストップした日常

降り掛かった生命の危機

深刻化する分断

不自由のない暮らし

明日がある毎日

平穏な日常…

当たり前は

幻想だった

陸上競技

5000大会の
半分が中止

それでも

ランキングによって

全国のアスリートが
つながった

危機に直面して

再認識したこと

記録には

人をつなぐ
力がある

知的障がい者の

ランキング

8割が障がい者大会以外の記録

彼らにはそれを
確認する術がない

盲人マラソン

伴走者は

助力にあたららない

聴覚障害者の陸上大会

オリンピックと

同じのルールで運営

わずかの偶然の差で

自分もまた不自由な
立場になったのではないか

これから不自由な立場に
なり得るのではないか

ベスト記録が抜けている
ランキングを見ているのは

自分だったのではないか

障がい者用の陸上競技？

非障がい者用の陸上競技？

障害とは

不自由さのこと

すべての人が今

不自由さの中にいる

組織は違う。
でも目標は同じ

素晴らしい
陸上競技にしていくこと

必要なことは

連携

具体的には…

記録をつなぐ

記録をつなぎ

絆をつむぐ
データベースで

ひとつの陸上競技を
実現する。

記録は
共通の価値

つなぐことで
共有の財産になる

いま為すべきは
目の前の仕事に志高く
取り組むこと

使命感を持って
働くこと

素晴らしい

陸上競技に
していくために

オリ・パラと

コロナが重なった日本

レガシーと

アフター・コロナ

日本だから
発信できること

ひとつの陸上競技

いま為すべきこと。

行動を

起こすこと

予定通りでは
ないことの中にこそ

チャンスを見つけない

終

このスライドは以下の作品にヒントを得て作成しました。

いま、あなたに 何ができるのか
すべての人が社会に貢献できる 生き方・働き方
社会起業大学 名誉学長 社会起業家フォーラム 代表 多摩大学大学院 教授 田坂広志
http://hiroshitasaka.jp/wp-content/uploads/2011/03/20110323_tasaka.pdf